



奈川の人口	
平成 26 年 5 月 1 日現在	
総世帯数	362 世帯
総人口	822 人
男	387 人
女	435 人
発行	奈川公民館
発行者	勝山 裕康
編集者	公民館報編集委員会
印刷	(株) プラルト

祝 公民館報 ながわ 200号!!



お話して下さった矢島先生

3月8日、安曇基幹集落センターにて、安曇・奈川地区合同講演会が行われました。

80歳にして現役医師、往診による在宅医療を積極的にやっている上田市の矢島嶺先生による現在の医療と介護、誰もが迎える死について、さまざまなお話をいただきました。

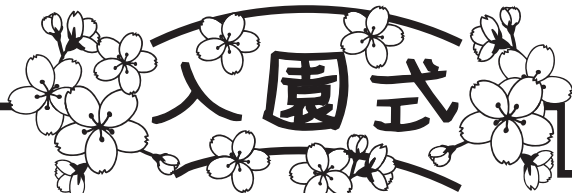
先生のお話は堅苦しくなく、とてもユーモアあふれるもので、重いテーマにも関わらず会場からは笑いが絶えません。

「いつの間にか私たちは、健康でなければならぬ、病気になることが悪いことのように思ってしまうている。健康と不健康、そのことに對し、知らず知らずのうちに差別感を抱いている」というお話に、そうかもしれない、と改めて考えることもありました。

身近なかかりつけ医師と信頼関係を持ち、家族とも日頃からよく話をし、て意志の疎通をはかること。自分が病気になる時、どう向き合うのか、その心構えを持つことは人として生きる上でとても大切な責任であることだ、という先生のお話に参加者の皆さんも十分納得されたようです。

80歳医師からのメッセージ 私たちの生き方とは？

～人権啓発講演会～



4月3日、奈川保育園の入園式が行われました。本年度から0歳児の受け入れをスタートさせたこともあり、今年も0歳児を含む4名が入園。在園児の歌や手遊びを、お父さん・お母さんのひざの上に行儀よく座り、興味深そうに見ていました。

新入児を迎え、一つお兄さん・お姉さんになったという意識があらわれていた在園児たちの歌声は、とても堂々としていました。

人数は少ないながらも元気いっぱいな



子どもたち。小さなお友達の面倒もしっかりとみてることでしょう。

入園・進級、おめでとうございます。

平成 26 年度 奈川地区町内公民館役員会 4 役名簿		
役名	氏名	公民館名
会長	奥原 繁満	田ノ萱
副会長	富田 金幸	古宿
会計	勝山 繁蔵	みより
監事	奥原 充	黒川渡・湯の原

平成 26 年度 奈川公民館行事予定 (主なもの)	
6月3日 (火)	ナイターソフトボールリーグ開会式 (奈川小中学校グラウンド)
8月17日 (日)	町内公民館対抗ソフトボール大会 (木曾路原グラウンド)
9月13日 (土)	第11回秋の大運動会 (奈川小中学校グラウンド)
11月1日 (土) 2日 (日)	第55回文化祭 (奈川文化センター夢の森)
12月19日 (金)	クリスマスコンサート (奈川文化センター夢の森)

卒業生を励ます会

3月13日、奈川中学校において、奈川地区社会福祉協議会主催の「卒業生を励ます会」が行われました。

25年度の卒業生は4名。記念品としてアルバム、印鑑、印鑑ケースが社協から贈られました。また、福祉ひろばから手作りのバラのコサージュ、奈川支所から自炊のレ



シビ集がそれぞれに手渡されました。

4名の卒業生は「生活リズムを整えたい」「大変だとは思うけど、勉強と自炊をがんばりたい」と力強く決意を話し、最後に記念撮影をして終わりました。

3月25日に、平成25年度児童生徒長野県教育委員会表彰式が県庁講堂で行われ、平成24年度奈川中学校3年生が出席しました。

この表彰は、全国規模の大会等において、特に優秀な成績を収めた147名と団体に教育長から賞状が贈られたもので、平成24年度奈川中学校3年生は、「KWN グローバルコンテスト

表彰を受けました！



地元でも祝福してもらいました(夢の森前)

2013」でベストドキュメントアワードを受賞したことが評価され、学芸文化部門団体の部で、平成23年度に続き2回目の表彰を受けました。

代表して賞状を受け取った松澤玲菜さんは、「(会場内が)とても静かで緊張しました。2回も表彰していただき大変嬉しいし、良い経験になりました。会場では知人に会うこともできました。」と話していました。

野麦路



5月3日、毎年子どもが楽しみにしている春祭り。暖かい日差しに、桜が満開の祭りの日和です。出発前、神社では宴が催され、その様子は、まるでお話の中から出てきたお

雛様たちが楽しんでいるかのようで、初めて見た時は感激。例年、見るのが楽しみです。

お昼頃、お神輿が出発。いつもは出発だけ見送るのですが、今年は一緒に5つの地区を回りながらお囃子を聞きました。どこの地区もお神輿が来るのを楽しみに待っている

方々が大き勢いて、春の山並と重なり明るい光景。そして恒例の餅投げ。子ども以上に大人が必死に取る様子に初めての時はビックリしましたが、私も餅とりの苦手な子どものために頑張りました！

(古市 万紀)

もうひとつは、神谷神社の境内右手にひっそりとたたずむ



馬頭観音【大正4年(1915年)11月建立。奈川の馬頭観音像では唯一丸彫りの像。頭にある馬の顔もはっきりしている】



三界萬霊塔【寛政元年(1789年)建立。4段の台座に置かれ、上部に丸彫りの座像がある】

奈川の歴史発見！①

文化庁では現在、地域の文化財を保存・活用する事業に取り組んでおり、奈川公民館でも地区の歴史や文化財について、二年間調査してきました。

この調査の中間報告として、全6回のシリーズで、調査を終えた石碑・石仏などについてお伝えしようと思います。

今回は、調査した物の中でも高さのある大きなものを二つご紹介します。

ひとつ目は、黒川渡(小山原)にある三界萬霊塔。黒川渡は道路改良などにより、あちこちにあった石像仏を一方所に集めていて、道祖神や三十三観音など多くのものが並ぶ真ん中に、高さ2メートルを超えるこの塔があります。

もうひとつは、神谷神社の境内右手にひっそりとたたずむ

馬頭観音像。袈裟をまとい、優しく手を組み、腕には花の飾りをつけ、とても穏やかな彫刻です。道中の安全を見守るように野麦街道の方を見て優しく微笑んでいます。

この世のあらゆる生物を供養する三界萬霊塔。牛馬や家畜の守り本尊、馬頭観音。写真を元に、みなさんもどこにあるのか探したり、足をとめてみてください。